

仕様書別紙

1 実施計画の提案

I 全体計画

(i) 大会概要

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で自転車ロードレースの舞台となった多摩地域において、レガシーコースを活用したロードレースや都民参加型レースを開催し、スポーツサイクル等自転車の活用推進や地域の魅力発信を図り、大会のレガシーとして未来に繋いでいく。

(ii) 組織体制

計画・調達・実施の各段階での十分な業務体制・人員体制を提案すること。

また、担当者等の過去のスポーツイベント実績、交通規制を伴うイベントの実績など、規模（具体的な参加人数など）や知見の有無も含め提示すること。

(iii) 準備スケジュール（業務実施工程）

契約から完了までのスケジュールについて、それぞれの業務内容に応じた適切かつ具体的なスケジュールを提案すること。

(iv) 当日スケジュール

当日の運営に応じた適切かつ具体的なスケジュールを提案すること。

II 自転車ロードレース実施計画

(i) 競技運営計画

自転車ロードレース、パラサイクリングレース競技の実施に向けて、以下を踏まえた計画を提案すること。

- ・自転車ロードレースに高い知見やノウハウを有する国内競技団体等との緊密な連携・調整、競技審判等の運営スタッフ等の人員体制の構築、競技備品・車両等の適切な手配など、全てのカテゴリー（種目）を安全かつ円滑に実施するための競技運営方法について提案すること。
- ・自転車ロードレースについては、多くの観戦者が見込める競技レベルの高いレースとするため、それに向けたプロ選手等のトップアスリートの参加の確保や人数について提案すること。また、競技の安全性を考慮した上で、レースへの一般競技者の参加、参加資格、参加人数、募集方法や参加費についても提案すること。
- ・パラサイクリングレースについては、競技人口を踏まえた選手の確保が必要なため、国内自転車競技連盟等との連携・協力も見据えた上で、海外選手の招聘をベースに検討すること。
- ・出場する選手へのインセンティブとして、各種表彰や賞金などの設定について提案する

こと。

- ・レース後の選手への防寒対策について提案すること。
- ・選手や競技運営スタッフ等の想定人数に応じた宿泊・輸送等を確保すること。
- ・臨場感のあるレース映像の制作方法、国内外を問わず多くのファンがリアルタイムで視聴でき、レースの魅力を最大限伝えることができる効果的な媒体やコンテンツ、実況方法等を提案すること。また、レース映像の配信や実況において、多摩地域の魅力発信につながるコンテンツについても提案すること。

(ii) スタート・フィニッシュ会場運営計画

スタート・フィニッシュガントリーの形状・デザイン、各種運営諸室や配置・レイアウト、駐車場の配置、VIPやゲストの観覧席の設置、フィニッシュ地点におけるレース映像の上映など、スタート・フィニッシュ会場の運営方法について提案すること。

(iii) スタートセレモニー・表彰式計画

以下を踏まえたスタートセレモニー・表彰式計画を提案すること。

- ・多くの誘客が見込め、メディアにとってニュースバリューが高いスタートセレモニーを企画すること。MCや音楽、特殊効果等による演出も行い、来賓者対応やメディア対応も行うこと。必要に応じてデジタル技術も活用すること。出演者については委託者と協議の上、決定すること。レイアウト、参加者誘導、スケジュール等を含むこと。
- ・VIPを受け入れる休憩場所や飲食の提供など、参加者が満足できるホスピタリティを提供すること。
- ・雨天、防寒対策も含むこと。
- ・全競技終了後、速やかに表彰式を実施できるスケジュールとすること。
- ・表彰式は、味の素スタジアム内ステージで実施すること（ステージの設営は当委託には含まない）。
- ・カテゴリーごとの表彰式プレゼンターを提案すること。

(iv) コース運営全体計画

自転車ロードレースの安全かつ確実な実施に向けたコース設営及び運営について、交通規制や安全対策方法など全体的な考え方、方針について提案すること。

(v) 交通規制実施計画

交通規制の実施について、地域への影響を最大限考慮した上で、規制区域（ブロック）の設定や規制時間の最小化などの計画を提案すること。なお、提案にあたっては、警察署管轄単位、道路・施設管理者単位、制限ブロック単位など渉外調整を効率的に実施できることを想定したものとすること。また、イベント当日の交通規制中の通行可能な一般車両動線や歩行者等の横断運用、緊急車両への対応等も含めること。

(vi) 人員・資機材配置計画（安全対策計画）

交通規制時間を最小限とするためのコース上及びコース周辺の資機材や人員配置（ボランティアの活用を含む）及び設営（設置・撤去）方法、設定時間などについて提

案すること。警察からの指導を想定し、選手や観客等の事故・トラブルが予見される注意すべき区間や箇所へは重点的に対策を講じるなど、メリハリある計画とすること。資機材については設営体制や概算数量、場所、規格等を記載すること。

(vii) 警備計画

ロードレースを安全・確実かつ円滑に実施するため、交通規制及び雑踏対策など効果的な警備計画や人員体制規模等を提案すること。

(viii) ボランティア計画

コース運営に必要な資機材の設置や雑踏整理等へのボランティアの募集・活用及び事前研修等について提案すること。また、ボランティアの活用の際に生じる費用（保険加入に要する費用及び交通費等）は受託者負担とする。費用の額及び交通費等の支給方法については、契約締結後、委託者から通知する。

III 都民参加型レース実施計画

スポーツサイクル初心者から経験者までが幅広く参加し楽しめる都民参加型レースの実施計画について提案すること。

(i) コース設定

以下を踏まえ、味の素スタジアム外周車路及び付帯広場等を活用した周回型コースを提案すること。スタート・フィニッシュ、参加者の受付・待機エリア等のレイアウトの提案も含む。

- ・スポーツサイクル初心者等でも安全に参加でき、最大限事故を回避できるコースとすること。
- ・1周当たりの距離を可能な限り長くすること。
- ・参加者にとって可能な限り魅力的なコースとすること。

(ii) プログラム、参加人数及び開催スケジュール

以下を踏まえ、可能な限り多くの人数が参加できるようプログラム、参加人数、参加費及び開催スケジュールを提案すること。

- ・スポーツサイクル初心者から自転車愛好家等まで、レース経験の有無や年齢、性別に関わらず幅広く安全に参加できるプログラムについて、プログラムごとのクラス分けや各参加人数等も合わせて提案すること。なお、スポーツサイクル初心者等については、レベルに応じてレース前のスクール実施を組み合わせるなど、安全面を最大限考慮すること。
- ・レースの合間に、選手の先導等により子供が自転車に乗ることを家族で楽しめるフリーライドの様なプログラムも一部提案すること。プログラムの内容によってレンタサイクルの活用についても検討すること。
- ・当日のスケジュールについては、日没、受付時間、表彰式等を考慮して設定すること。
- ・多くの参加希望者が見込めるよう、プログラムの内容に加え、顕彰や参加賞等により、

参加へのインセンティブを高めること。

- ・プログラムの合間に、プロ選手等によるエキシビション等、レース以外のコンテンツについても提案すること。

IV プレイベント実施計画

自転車ロードレース開催直前期に、レースへの観戦促進や気運醸成を図るため、スタートエリア近隣においてプレイベントを開催する。ステージコンテンツや自転車体験イベント等で構成し、子どもから大人まで多くの来場者が自転車に親しめ、ロードレースへの期待を促すようなイベントを提案すること。開催場所は、東京たま未来メッセ（八王子市）とする。

(i) プログラム及び開催スケジュール

以下の要素を考慮し、話題性・集客力の面で効果の高いプログラムや開催スケジュールを提案すること。

- ・自転車競技のデモンストレーションや体験、交通安全教室、パラサイクル体験など、自転車愛好家のほか、不特定多数の一般来場者が見込めるよう、年齢や性別を問わず、幅広く楽しめるプログラムとすること。
- ・ロードレース参加者の出走エントリー受付も併せて実施すること。
- ・環境にやさしく健康に良い自転車の活用促進に繋がるもの、多摩地域のPRに資するもの（グルメ・特産品・観光スポット等）など、地域と一体となった大会として情報発信を行うコンテンツを含むこと。
- ・ロードレース競技及び自転車全般に対する興味、関心を高めるコンテンツとすること。

(ii) アスリートの活用

オリンピック・パラリンピアンやプロ選手、ロードレース出場選手など、著名なアスリート等の活用を提案すること。活用には、競技デモンストレーションや、子どもを含めた参加者との交流など、ロードレースへの関心を高められるような企画とすること。

V 広報計画

(i) 交通規制広報計画

交通規制に対する地元関係者等（地域住民、事業者、教育機関、官公庁等）等からの理解や協力を最大限得るための大会前交通規制広報について、ツール・媒体、対象範囲、実施時期など効果的かつ効率的に実施するための計画を提案すること。なお、地元関係者等からの問い合わせ窓口（コールセンター等）の設置についても含むものとする。

(ii) エントリー計画

自転車ロードレース及び都民参加型レースの参加者の募集受付について、以下を踏まえたエントリーサイトを提案すること。

- ・大会用のウェブページと連動させること。
 - ・エントリーフォームを作成し、応募プログラム、大会への参加資格や経験、自転車の持ち込みの有無（レンタサイクルの利用有無）などを確認できるようにすること。
 - ・応募者に対して、当選落選の結果、ゼッケン等事前送付物の案内、当日の開催可否などは、メール等で事前連絡しわかりやすく伝えられるようにし、複数回発信できる体制をとること。
 - ・アクセス集中等によるシステムダウン防止対策を行うこと。
 - ・応募内容や参加規約、注意事項などが分かりやすいウェブのレイアウト・構成とし、参加者が間違えずに申し込みできるよう工夫し、ユーザーテストを実施すること。
 - ・多言語対応（日本語・英語等）を行うこと。
 - ・参加者受付の際には参加費を徴収し、キャンセルが発生した際には、キャンセルポリシーに従い適切に対応すること。
- (iii) 東京の魅力発信計画
- ・自転車ロードレース及びパラサイクリングで招聘した海外選手等が、大会前後に都内の観光施設等を訪問し、東京の食や文化等の魅力発信を行う企画を提案すること。

VI その他の計画

(i) 救護医療計画

大会の参加者、スタッフ、ボランティア、観客等に傷病者が出た場合の救護医療計画について提案すること。計画には、救護施設の設置場所、AED等必要となる機材や備品、搬送のフロー、医療従事者配置、人員体制などについて盛り込むこと。

(ii) 緊急時対応計画

悪天候時や大規模自然災害発生時、大会にかかる事故発生時など、当初計画通りのイベント運営が困難となった場合の対応について提案すること。また、緊急時の参加者・来場者への周知方法を検討すること。

(iii) 新型コロナウイルス対応計画

大会実施時における新型コロナウイルスの蔓延状況を想定し、委託者と協議の上、それぞれの状況に応じた適切な対策を検討すること。

- ・大会実施時における新型コロナウイルスの国・都の方針・指針等を遵守すること。
- ・変異ウイルス等の出現を踏まえ、イベント開催時期の状況に合った計画に随時変更すること。
- ・来場者及びスタッフ等関係者から新型コロナウイルス感染症等の陽性者（感染疑い含む）が発生した場合の対応・連絡フローを事前に定めること。